



発行所
東北税理士政治連盟

仙台市若林区新寺一丁目7-41

電話 022-293-0503

HP <https://www.tohokuzeiseiren.jp/>

発行責任者 青木 正

編集責任者 森 智恵子

印刷所 (株)孔栄社



鳳鳴四十八滝（宮城・作並）

高橋 昭男（塩釜）

主要目次

第47回定期大会	2
令和元年度収支決算承認の件	8
令和2年度収支予算決定の件	8
規約一部改正の件	9
各機関の審議概況	9
陳情・懇談会等の実施状況	11

東北税理士政治連盟組織一覧	14
日本税理士政治連盟の会議出席状況	15
あいさつ要旨：東北税理士政治連盟会長	16
あいさつ要旨：日本税理士政治連盟会長	17
あいさつ要旨：東北税理士会会长	18
税理士による国会議員等の後援会結成状況	20

第 47 回 定 期 大 会

“引続き災害損失控除制度の創設を、”

全議案を原案どおり可決承認

東北税理士政治連盟は、9月3日、東北税理士会館及び東北6県税理士会館（福島県は郡山税理士会館）において、第47回定期大会をWEB会議により開催した。

議事終了後には太田直樹日本税理士政治連盟会長（代読）及び木口隆東北税理士会会长から祝辞をいただき滞りなく終了した。

第47回定期大会は、東北税理士政治連盟規約に基づき、代議員及び本部役員などWEB上で72名が出席して開催された。

有坂副幹事長の司会進行により、青木会長からあいさつ（別掲）があった。

来賓紹介の後、議長には、橋浦佳子代議員（仙台中支部）、副議長には、船形丈比古代議員（仙台北支部）が選出され、また、議事録署名人には、佐藤光弘代議員（塩釜支部）、鶴田勇治代議員（石巻支部）が指名され、直ちに議事に入った。



運動経過の概要

東北税理士政治連盟（以下「本連盟」という。）は、日本税理士政治連盟（以下「日税政」という。）及び日本税理士会連合会（以下「日税連」という。）並びに東北税理士会の基本施策に則り、第46回定期大会で決定した運動方針及び組織活動方針に基づき、各県税理士政治連盟（以下「各県税政連」という。）及び「税理士による国会議員等後援会」（以下「後援会」という。）の協力を得て税理士の社会的地位の向上実現のため各種施策、運動を実施した。

ただし、2月27日付日税政通知の「新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえた対応について」を受け、本連盟においてもその後の活動を自粛せざるを得ない実状があった。



第1号議案

令和元年度 運動経過及び組織活動報告承認の件

吉田幹事長から、各項目について、概ね次のような提案説明があった。

1 公正な税制の確立及び税務行政改善のための運動について

- (1) 令和2年度の税制改正に対し日税政は、日税連建議書から日税連と協議により最重要建議・要望項目3項目及び個別要望項目14項目からなる重点要望項

目を抽出し、国会議員向けの要望書を8月5日の幹事会で決定した。特に東北税理士会がかねてより提案してきた「所得税法の雑損控除制度を改正し災害損失控除制度を創設すること」が日税連の税制改正建議書で最重要項目の1つとされたことは特筆すべきことであった。

これを受け本連盟は、9月26日に開催された定期大会に出席の国会議員にこれを手交し要望した。

11月5日には各県税政連及び各後援会と連携し、特に災害損失控除制度の創設を最重点要望として東北税理士会調査研究部と連携の下、5分で説明できる税制改正資料として「令和2年度税制改正建議書重点建議事項等の概要」を作成して衆議院・参議院議員会館等で一斉陳情を実施した。

その中で、若松謙維議員（公明党・比例）は本連盟の陳情の主旨をよく理解いただき、議員から西田実仁議員（公明党・税制調査会会长）と井上義久議員（公明党・比例）、竹内譲議員（公明党政務調査会・財政金融部会長）、石井啓一議員（前国土交通大臣）に対する陳情の後押しをいただいた。さらに11月20日には若松議員とともに遠山清彦財務副大臣への陳情、11月23日には地元に戻った内閣官房副長官の西村明宏議員（自民党・宮城3区）に面会を求め陳情を行った。

また1月9日には、衆議院・参議院議員会館にて令和2年度の税制改正大綱に取り上げられた税制改正要望項目の実現に向け、東北選出の議員31人に対し各県税政連と連携し、推薦国会議員等に陳情した。

情報収集の強化に関しては、前年度に引き続き日税政と連携し、迅速かつ的確に対応した。

令和2年度税制改正大綱に取り上げられた主な要望事項は、次のとおりである。

① 未婚のひとり親に対する税制上の措置及び寡婦（夫）控除の見直し

② 申告書等閲覧サービスの利用の見直し

令和2年度の税制改正に関する法案は、3月27日成立し、4月1日施行された。

② 令和3年度の税制改正要望に対して、本連盟は、

東北税理士会の建議書の内容について調査研究部と意見交換を行い、日税政における税制改正要望書作成と国会陳情に向けた検討を行った。



2 東日本大震災の教訓を生かした大規模災害への対応について

東日本大震災の教訓を生かした、今後起こりうる大規模災害への対応について、本連盟は、災害損失控除制度の創設を要望するなど日税政及び日税連並びに東北税理士会と連携し、税務の専門家に相応しい提言を行った。

3 推薦国会議員等の後援会対策等について

本連盟は、後援会のあり方を重要課題として位置づけ、後援会の組織拡大と活動の活性化を図るため、各県税政連と連携して、推薦国会議員に対し、政治活動を支援する組織として後援会づくりを推進してきており、現在は22後援会が結成されている。

各後援会は、税制改正要望の実現、税務支援事業への理解など税理士業界が抱える課題の解決に向けて国会議員等に強く要望した。また、後援会主催の行事を実施したほか、国会議員との研修会等の開催についても積極的に対応した。

10月24日には、各県税政連役員を含めた「後援会会長連絡会議」を開催して、後援会活動のあり方及び陳情・選挙関係等当面の諸問題について協議し、今後の活発な活動を各後援会に要請した。

併せて東北税理士会調査研究部長を講師として「税制改正建議と税政連の役割～重点要望事項を中心として～」の研修会を実施した。

また、後援会活動の周知と会員の一層の理解に資するため、「東北税政連だより」等に後援会活動の記事を掲載した。



4 税理士法改正について

税理士法改正について、日税連は、更なる税理士制度の改革に向けて「次期税理士法改正に関する答申」に対する意見募集を行っており、本連盟は日税連と連携しながら、その動向を注視した。

5 税理士会が行う税務支援等について

本連盟は、税理士会が確定申告期に行っている税務支援について理解を得るために、推薦国会議員等に対し、その実態の視察を要請し、状況等を説明することを各県税政連に依頼した。

本年度は、確定申告期間中に延べ10人の国会議員が無料相談会場を視察した。

その際、税理士会独自の社会貢献事業、電話相談を含めた地域住民に対する税務支援の趣旨等について説明し、理解を求めた。

無料相談会場等の訪問視察の状況は、13頁のとおりである。

6 税理士の業務対策及び公益的業務への参入施策について

本連盟は、地方公共団体等の外部監査制度や登録政治資金監査人制度等、公益的業務への税理士の参入について、東北税理士会及び各県税政連と連携のうえ、税理士の専門家としての能力活用を関係各方面に働きかけた。

7 組織・財政への対応及び広報について

本連盟は、各県税政連の会費収納率向上のための施策として、新規会員に対する税理士証票伝達式を活用

して、本連盟の組織及び活動状況を説明し、理解と協力を求めた。また、税理士会関係団体等の会合及び税理士会支部協議会等で各県税政連の会費収納率を公表するなど、会費収納率の向上への協力を訴えた。

会員に対し「東北税政連だより」及び本連盟ホームページ等を通じ、本連盟及び各県税政連の活動状況とその成果を報告するとともに、リーフレット「税理士政治連盟にご理解を」を送付するなどして理解と協力を得るよう努めた。

10月8日には宮城県支部連合会の協力のもと、宮城県税理士政治連盟と連携して「民法（相続法）の改正と相続税の対応」をテーマに財務省主税局税制第一課課長補佐を講師に迎え研修が行われ、221人の参加があった。

また、次の国政選挙に向けた選挙支援活動資金不足を解消するために「サポート募金」を年明けより募り400人の会員から366万円のご協力をいただいた。多くの会員の皆様よりのご芳志に厚く御礼申し上げる。

8 国政選挙への対応について

本連盟は、第25回参議院議員通常選挙（令和元年7月4日公示、7月21日投開票日）においては、各県税政連から推薦候補者を募り3人（秋田県選挙区、宮城県選挙区、比例区）を推薦し、比例区1人が当選した。



第2号議案

令和元年度収支決算承認の件

成瀬副幹事長から、収支決算、財産目録について順次説明があり、引き続き坂本会計監事から監査報告があった。

議長は、第1号議案について採決を諮ったところ、満場一致をもって原案通り可決承認された。

引き続き、第2号議案について採決を諮ったところ、満場一致をもって原案通り可決承認された。（8頁）

第3号議案

令和2年度 運動方針及び組織活動方針決定の件

吉田幹事長から、各項目について、概ね次のような提案説明があった。

一 運動方針

本連盟は、税理士による国会議員等後援会の活動を活性化し、その力を最大限に發揮するため、各県税政連と連携して地域に密着した政治活動を推進するべく、具体的課題に積極的に対応する。

税制改正への対応については、納税者の立場から幅広い議論がより一層推進されるよう、また、中小企業に過重な負担をもたらす改正が行われることのないよう、運動を行うとともに情報収集の更なる強化に努める。

東日本大震災の教訓を生かした、今後起こりうる大規模災害への対応については、震災関連税制等に対し、税理士の職能を生かした実務に即した提言を行い、速やかな復旧・復興に貢献するため日税政及び東北税理士会と連携して積極的に対応する。

税務行政改善への対応については、納税環境整備に係る議論の流れに対応し、国民の権利及び利益の救済ないし保護に資するよう検討と対策を積極的に推進する。

税理士法への対応については、日税連が更なる税理

士制度の改革に向けた検討を開始しており、日税政及び東北税理士会と連携し、制度発展に向けて強力な運動を行う。

税理士制度に大きな影響を与える制度改革や他士業資格制度の見直し等の動向については、その情報の収集に努め、迅速かつ的確に対応する。

これらの実現のため、税理士の社会的地位向上を目指して、各県税政連及び各後援会との連携を密にし、政治力と挙会体制を一層強化して、国民的理解を得ながら次に掲げる目標達成のための運動を強力に展開する。

- 1 進展する社会の要請に応え得る税理士制度の確立
- 2 公正で合理的な租税制度の確立
- 3 税理士の社会的地位の向上と権益の確保、拡充



二 重点運動

上記の運動方針に基づき、本連盟の目的を達成するため、納税者のための眞の代表を国会に送り、国会その他政治機関との意思の疎通を図るとともに、推薦国会議員等の後援会をはじめ、あらゆる機会を通じ日常の政治活動を行うこととし、更なる税理士制度の発展のために次の重点運動を強力に推進する。

- 1 令和3年度税制改正に対し納税者の立場からの幅広い議論が行われるよう、また、中小企業に過重な負担をもたらす改正が行われることのないよう運動を行う。
- 2 東日本大震災の教訓を生かし、今後起こりうる大規模災害での復旧・復興に貢献するため、震災関連税制等に対して税理士の職能を生かした実務に即した運動を行う。
- 3 推荐国会議員等後援会を充実強化し、政治活動を





行う。

4 更なる税理士制度の発展に向けて、強力な運動を行う。

5 公正な税制の確立及び税務行政改善のための運動を行う。

6 税理士会への強制入会制と税理士業務の無償独占の堅持のための運動を行う。

三 組織活動方針

令和 2 年度運動方針の目標を達成するため、次の運動を展開する。

1 政策委員会

- (1) 本年度運動方針に基づき、本連盟の具体的施策を策定する。
- (2) 東北税理士会との連絡調整を図る。
- (3) 税理士の業務及び職域侵害行為を防止するための施策を進める。
- (4) 税理士の社会的貢献及び業務を確保・拡充するための施策を進める。

2 財務委員会

- (1) 本連盟財政の強化と健全な運営に努めるとともに、長期的観点に立って財政の充実策を検討する。
- (2) 各県税政連の会費収納率向上のための施策を引き続き推進する。

3 組織委員会

- (1) 本連盟組織の見直し及び組織活動の強化を図る。
- (2) 各県税政連との連絡調整及び連携強化を図る。

4 国対委員会

- (1) 本連盟の事業遂行に必要な情報を収集し、国会活動対策を企画立案すると共に、陳情等の具体的運動を実施する。
- (2) 本連盟の選挙対策を企画立案し、具体策を講ずる。

5 広報委員会

- (1) 本連盟及び各県税政連の活動状況等を周知し、理解と協力を得るため、会報「東北税政連」を発行するほか、東北税理士会報の広告として「東北税政連だより」に活動内容を掲載する。
- (2) ホームページを通じて、積極的かつ迅速に情報を発信する。
- (3) 税理士業界を取り巻く各種情報の収集に努め、活用を図る。

6 後援会対策委員会

- (1) 後援会活動の活性化を図るための諸施策を推進する。
- (2) 本連盟の要望実現のため、後援会活動を通じ地元国会議員との連絡を密にし、懇談会等を通じ強力な陳情を実施する。
- (3) 公職選挙法及び政治資金規正法等の理解と、選挙に対する正しい認識の研修と普及に努める。

第 4 号議案

令和 2 年度収支予算決定の件

成瀬副幹事長から、令和 2 年度収支予算について順次説明があった。

議長は、第 3 号議案について採決を諮ったところ、満場一致をもって原案通り可決承認された。

引き続き、第 4 号議案について採決を諮ったところ、満場一致をもって原案通り可決承認された。（8 頁）

第5号議案

東北税理士政治連盟規約一部改正の件

日野副幹事長から規約一部改正として大会の議事及び幹事会の議事の新設について提案説明があった。

議長は、第5号議案について採決を諮ったところ、満場一致をもって原案通り可決承認された。（9頁）



第6号議案

大会決議決定の件

吉田幹事長から大会決議について提案説明があった。

議長は、第6号議案について採決を諮ったところ、満場一致をもって原案通り可決承認された（議案別掲）。

その後、太田直樹日本税理士政治連盟会長（福田副会長代読）、木口隆東北税理士会会长からそれぞれ祝辞（別掲）をいただいた。

また、日野副幹事長から祝電が披露され、大会は終了した。



大 会 決 議

われわれ東北税理士政治連盟は、挙会体制を強化し次の目標を達成するため、強力な運動を開発する。

- 1 われわれは、税理士制度の発展と、納税者のための真の代表を国会に送るため強力な運動を行う。
- 2 われわれは、納税者に信頼される税理士制度の確立を目指して強力な運動を行う。
- 3 われわれは、公正な税制の確立及び税務行政改善のための強力な運動を行う。
- 4 われわれは、税制改正に際し、中小企業に過重な負担をもたらすことのないよう強力な運動を行う。
- 5 われわれは、税理士会への強制入会制と税理士業務の無償独占の堅持のための強力な運動を行う。
- 6 われわれは、税理士の業務及び職域に重大な影響を及ぼす動向に対して強力な運動を行う。

第 2 号議案

令和元年度収支決算承認の件

令和元年度収支決算書

自 令和元年 7 月 1 日 至 令和 2 年 6 月 30 日

(単位：円)

(単位：円)

取 入 の 部			
科 目	元年度予算額	元年度決算額	差 異
会 費	12,300,000	12,300,000	0
受 取 利 子	300	169	131
寄 付 収 入	0	3,660,000	△ 3,660,000
雑 収 入	775,000	1,003,000	△ 228,000
事 務 受 託 費	1,200,000	1,200,000	0
前 期 繰 越 金	3,513,824	3,513,824	0
政治活動資金準備金取崩	0	0	0
合 計	17,789,124	21,676,993	△ 3,887,869

支 出 の 部			
科 目	元年度予算額	元年度決算額	差 異
事 業 費	9,350,000	7,487,280	1,862,720
日 税 政 分 担 金	2,952,000	2,952,000	0
事 務 委 託 費	2,073,600	2,112,000	△ 38,400
事 務 所 費	800,000	909,203	△ 109,203
政治活動資金準備金繰入	0	0	0
予 備 費	2,613,524	0	2,613,524
次 期 繰 越 金	0	8,216,510	△ 8,216,510
合 計	17,789,124	21,676,993	△ 3,887,869

財 产

目 錄

令和 2 年 6 月 30 日現在

(単位：円)

(単位：円)

資 产 の 部		
科 目	金 額	摘 要
現 金	135,299	手許有高
預 貯 金	9,581,211	普通預金（七十七銀行） 4,579,081 定期預金（七十七銀行） 1,500,000 通常貯金（ゆうちょ銀行） 12,918 振替貯金（ゆうちょ銀行） 3,489,212
合 計	9,716,510	

正味財産の部		
科 目	金 額	摘 要
正味財産	9,716,510	政治活動資金準備金 期首有高 1,500,000 当期繰入 0 当期取崩 0 期末残高 1,500,000 次期繰越金 8,216,510
合 計	9,716,510	

第 4 号議案

令和 2 年度収支予算決定の件

令 和 2 年 度 収 支 予 算 書

自 令和 2 年 7 月 1 日 至 令和 3 年 6 月 30 日

(単位：円)

(単位：円)

取 入 の 部			
科 目	2 年度予算額	元年度決算額	備 考
会 費	12,340,000	12,300,000	2,468名×@5,000
受 取 利 子	300	169	
寄 付 収 入	0	3,660,000	
雑 収 入	1,000,000	1,003,000	
事 務 受 託 費	1,200,000	1,200,000	
前 期 繰 越 金	8,216,510	3,513,824	
政治活動資金準備金取崩	0	0	
合 計	22,756,810	21,676,993	

支 出 の 部			
科 目	2 年度予算額	元年度決算額	備 考
事 業 費	9,080,000	7,487,280	
日 税 政 分 担 金	2,961,600	2,952,000	2,468名×@1,200
事 勿 委 託 費	2,112,000	2,112,000	
事 勿 所 費	854,000	909,203	
政治活動資金準備金繰入	4,760,000	0	
予 備 費	2,989,210	0	
次 期 繰 越 金	0	8,216,510	
合 計	22,756,810	21,676,993	

(注) 必要により、幹事会の承認を得て政治活動資金準備金の取り崩し、科目間及び予備費を流用することができる。

第5号議案 東北税理士政治連盟規約一部改正の件

東北税理士政治連盟規約一部改正

改 正 案	現 行
東北税理士政治連盟規約を次のとおり一部改正する。	
(大会の議事) 第22条 現行どおり	(大会の議事) 第22条 大会の議長及び副議長は、その都度大会において選任する。 〈新設〉
2 大会は、構成員の2分の1以上の出席者がなければ議事を開くことができない。ただし、委任状による出席を認めることができる。	
3 会長は、緊急を要する事案については、議案を記載した書面を構成員に送って、当該議案に対する賛否の意見を求め、書面の議決をすることができる。	〈新設〉
4 大会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。	2 大会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
5 その他大会の議事及び運営については別に定める。	3 その他大会の議事及び運営については別に定める。
(幹事会の議事) 第25条 現行どおり	(幹事会の議事) 第25条 幹事会は、構成員の3分の1以上が出席しなければ議事を開くことができない。 〈新設〉
2 会長は、緊急を要する事案については、議案を記載した書面を構成員に送って、当該議案に対する賛否の意見を求め、書面の議決をすることができる。	
3 幹事会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。	2 幹事会の議事は、出席者の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
附 則 (令和2年9月3日) この改正規定は、令和2年9月3日から施行する。	

各機関の審議概況

大 会

令和元. 9. 3

第46回定期大会

(ホテルメトロポリタン仙台)

第1号議案 平成30年度運動経過及び組織活動報告承認の件

第2号議案 平成30年度収支決算承認の件

第3号議案 令和元年度運動方針及び組織活動方針決定の件

第4号議案 令和元年度収支予算決定の件

第5号議案 役員任期満了に伴う改選の件

第6号議案 大会決議決定の件

正副会長会

令和元. 8. 2

第1回正副会長会

1 第46回定期大会議案について

2 第46回定期大会運営要領について

3 第25回参議院議員選挙通常選挙について

4 サポート募金について

5 各委員会会議報告について

6 今後の日程について

7 その他当面の諸問題について

令和元. 9. 13

第2回正副会長会

1 顧問及び相談役の委嘱について

2 幹事長及び副幹事長の選任について

3 幹事の委嘱について

4 委員長及び副委員長の選任について

5 推薦審査会委員の委嘱について

6 サポート募金について

7 第47回定期大会について

8 今後の日程について

9 その他当面の諸問題について

令和元. 10. 24

第2回正副会長会

1 国会議員への陳情について

2 令和2年新年賀詞交歓会の招待者について

- 3 確定申告期における税務支援業務等の視察等について
- 4 サポート募金について
- 5 その他当面の諸問題について

幹事会等

令和元. 7. 8

第1回正副幹事長会

- 1 第46回定期大会議案について
- 2 第46回定期大会運営要領について
- 3 第25回参議院議員通常選挙について
- 4 各委員会会議報告について
- 5 今後の日程について
- 6 その他当面の諸問題について

令和元. 7. 16

第2回正副幹事長会

- 1 第46回定期大会議案について
- 2 第46回定期大会運営要領について
- 3 第25回参議院議員通常選挙について
- 4 各委員会会議報告について
- 5 今後の日程について
- 6 その他当面の諸問題について

令和元. 8. 2

第1回幹事会

- 1 第46回定期大会議案について
- 2 第46回定期大会運営要領について
- 3 第25回参議院議員通常選挙について
- 4 サポート募金について
- 5 各委員会会議報告について
- 6 今後の日程について
- 7 その他当面の諸問題について

令和元. 9. 3

第2回幹事会

(ホテルメトロポリタン仙台)

- 1 第46回定期大会の運営要領等について
- 2 第53回日税政定期大会への対応について
- 3 国会議員等への陳情について
- 4 後援会会长連絡会議の開催について
- 5 サポート募金について
- 6 その他当面の諸問題について

令和元. 9. 13

第3回幹事会

- 1 委員長及び副委員長の選任について
- 2 推薦審査会委員の推薦について
- 3 第53回日税政定期大会への対応について
- 4 国会議員等への陳情について

- 5 サポート募金について
- 6 第47回定期大会について
- 7 後援会会长連絡会議の開催について
- 8 その他当面の諸問題について

令和元. 10. 24

第3回正副幹事長会

- 1 研修会及び後援会会长連絡会議の運営について
- 2 国会議員への陳情について
- 3 確定申告期における税務支援業務等の視察等について
- 4 令和2年新年賀詞交歓会の招待者について
- 5 東日本六税政連役員連絡協議会について
- 6 各委員会の行動計画について
- 7 今後の日程について
- 8 その他当面の諸問題について

令和元. 10. 24

第4回幹事会

- 1 研修会及び後援会会长連絡会議の運営について
- 2 国会議員への陳情について
- 3 確定申告期における税務支援業務等の視察等について
- 4 令和2年新年賀詞交歓会の招待者について
- 5 サポート募金について
- 6 東日本六税政連役員連絡協議会について
- 7 今後の日程について
- 8 その他当面の諸問題について

令和2. 1. 8

第5回幹事会（仙台国際ホテル）

- 1 新年賀詞交歓会の対応について
- 2 国会議員への陳情及び日税連新年賀詞交歓会の対応について
- 3 確定申告期における税務支援業務等の視察等について
- 4 サポート募金について
- 5 東日本六税政連役員連絡協議会について
- 6 その他当面の諸問題について

後援会会議

令和元. 10. 24

研修会

税制改正建議と税政連の役割～重点要望事項を中心として～

後援会会长連絡会議

- 1 後援会組織のあり方について
- 2 その他当面の諸問題について

監 査

令和元. 7. 16

会計監査

平成30年度第45期会計監査

対外活動

令和元. 7. 1

「税理士による秋葉賢也後援会定期総会」
吉田幹事長出席

令和元. 10. 2

「西村明宏君を励ます会」
青木会長出席

令和元. 12. 12

「井上義久榴岡の会」
吉田幹事長出席

令和2. 2. 4

「公明党宮城県支部賀詞交歓会」
青木会長出席

税理士会との連携

令和元. 7. 4

「常務理事会」 笹田副幹事長出席

令和元. 7. 5

「理事会」 笹田副幹事長出席

令和元. 8. 20

「常務理事会」 笹田副幹事長出席

令和元. 10. 2

「常務理事会」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

令和元. 10. 15

「関連団体との連絡協議会」 青木会長、穀田副会長、江部副会長、吉田幹事長出席

令和元. 12. 3

「常務理事会」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

令和元. 12. 12

「支部長全体会議」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

令和2. 1. 8

「常務理事会」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

令和2. 3. 26

「常務理事会」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

令和2. 5. 15

「常務理事会」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

令和2. 5. 15

「常務理事会」 笹田副幹事長、高澤副幹事長出席

後援会による陳情・懇談会等の実施状況

国會議員等 (後援会会长)	陳情等 実施年月日	場所	陳情 一 等 マ	陳情 等 者 参 加 (出席)
津島淳 (今良暢)	令元. 9. 26	議員会館	陳情(災害損失控除創設・軽減税率の廃止)	今会長他3名
	令元. 11. 23	青森市	勉強会(国際情勢について)	今会長他5名
	令元. 11. 30	青森市	懇談会(軽減税率について)	今会長他30名
木村次郎 (石塚徹)	令元. 8. 31	弘前市	総会	石塚会長他13名
	令元. 9. 26	議員会館	陳情(税制改正について)	石塚会長
階猛 (工藤善規)	令元. 7. 15	盛岡市	勉強会	工藤会長
	令元. 9. 26	議員会館	陳情(税制改正について)	工藤会長他2名
	令元. 11. 3	盛岡市	勉強会	工藤会長
	令元. 12. 22	盛岡市	懇談会	工藤会長
	令2. 1. 9	議員会館	勉強会	工藤会長他3名
	令2. 2. 22	盛岡市	総会	工藤会長他17名
鈴木俊一 (樋口一男)	令元. 9. 14	盛岡市	報告会(政経セミナー)	樋口会長他1名
	令元. 9. 19	盛岡市	総会	樋口会長他25名
	令2. 1. 9	議員会館	陳情(税制改正に関する要望)	樋口会長
	令2. 2. 1	盛岡市	新年会	樋口会長他16名
	令2. 2. 1	盛岡市	視察(盛岡支部還付申告相談会)	樋口会長
小沢一郎 (及川高志)	令元. 7. 16	奥州市	懇談会(税制改正について)	及川会長他2名
	令元. 8. 10	奥州市	懇談会(税制改正について)	及川会長他2名
	令元. 9. 26	議員会館	陳情(税制改正について)	及川会長他2名
	令元. 11. 8	奥州市	総会	及川会長他30名
	令元. 11. 17	盛岡市	陳情(税制改正について)	及川会長
	令元. 12. 20	奥州市	懇談会(税制改正について)	及川会長他2名
	令2. 1. 7	奥州市	打合せ(陳情の打合せ)	及川会長
	令2. 1. 9	議員会館	陳情(税制改正について)	及川会長
	令2. 1. 24	奥州市	懇談会(陳情報告・総会打合せ)	及川会長他2名
	令2. 5. 25	奥州市	懇談会(総会打合せ)	及川会長他2名
	令2. 6. 1	奥州市	懇談会(諸般の情勢・総会打合せ)	及川会長
遠藤利明 (川合賢助)	令元. 11. 11	山形市	政経セミナー	川合会長他3名
	令2. 6. 16	山形市	報告会	鈴木幹事長
根本匠 (柳内一彦)	令元. 8. 10	郡山市	総会	柳内会長他18名
	令元. 8. 27	郡山市	シンポジウム(鈴木俊一議員との対談・懇談会)	柳内会長他1名
	令2. 2. 23	郡山市	視察(税理士記念日無料相談会)	柳内会長他4名
玄葉光一郎 (金澤博信)	令2. 2. 4	電話	陳情(コロナ対策関連)	金澤会長他3名
菅家一郎 (小林隆晴)	令元. 7. 4	会津若松市	総会	小林会長他39名
亀岡偉民 (佐藤吉弘)	令元. 7. 2	福島市	懇談会(参議院選挙、安倍首相第一声について)	佐藤幹事長他1名
	令元. 8. 27	福島市	総会	佐藤会長他28名
	令元. 12. 3	福島市	陳情(税制建議持参)	佐藤幹事長他1名
	令元. 12. 15	福島市	勉強会	佐藤会長他1名
	令2. 2. 23	福島市	視察	
寺田学 (佐々木茂美)	令2. 1. 9	議員会館	新年の挨拶	秋田県税政連会長他1名
	令2. 2. 8	秋田市	無料相談会視察	宇佐見幹事長他1名
舟山康江 (佐藤登美子)	令元. 7. 19	鶴岡市	山形県税政連定期大会	佐藤会長他
	令元. 11. 25	山形市	舟山やすえ全県後援会	佐藤会長他3名
	令元. 12. 21	山形市	つばさの会(フォーラム)	大津幹事長
	令2. 2. 1	山形市	視察(税理士記念日無料相談会)	佐藤会長他4名
村岡敏英 (鈴木正男)	令元. 11. 30	由利本荘市	懇談会	鈴木会長他3名
	令2. 2. 4	由利本荘市	総会	鈴木会長他13名
愛知治郎 (浅利一儀)	令元. 11. 16	仙台市	懇談会	近江副会長他6名
中泉松司 (和田英幸)	令元. 7. 4	秋田市	励ます会・街頭演説視察	秋田県税政連会長他2名
	令元. 7. 6	秋田市	選挙協力	山本幹事長他
	令元. 7. 6	秋田市	事務所訪問	和田会長他1名
	令元. 7. 12	湯上郡	激励	和田会長
	令元. 7. 14	秋田市	街頭演説視察	山本幹事長
	令元. 7. 20	秋田市	街頭演説視察	秋田県税政連会長他2名
	令2. 2. 7	秋田市	定期総会・情報交換会	和田会長10名

東北税政連及び各県税政連の実施状況

- 令元. 9.26 東京都（議員会館等）
税制改正について陳情（要望書手交）

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加 (出席) 者
津島 淳（青森 1 区） 大島 理森（青森 2 区） 木村 次郎（青森 3 区） 江渡 聰徳（比 例）	西 村 青森県税政連会長 奈 良 青森県税政連幹事長 今 後 援 会 会 長 石 塚 後 援 会 会 長
階 猛（岩手 1 区） 鈴木 俊一（岩手 2 区） 小沢 一郎（岩手 3 区）	穀 田 岩手県税政連会長 猿ヶ澤 岩手県税政連会計幹事 及 川 後 援 会 会 長 樋 口 後 援 会 会 長 工 藤 後 援 会 会 長
富樫 博之（秋田 1 区） 金田 勝年（秋田 2 区） 御法川信英（秋田 3 区） 寺田 学（比 例） 石井 浩郎（秋田選挙区）	鈴 木 秋田県税政連会長 宇佐見 秋田県税政連幹事長
土井 亨（宮城 1 区） 秋葉 賢也（宮城 2 区） 西村 明宏（宮城 3 区） 小野寺五典（宮城 6 区） 井上 義久（比 例） 櫻井 充（宮城選挙区）	福 田 宮城県税政連会長 岡 宮城県税政連副幹事長 森 副 幹 事 長 益 子 副 幹 事 長
遠藤 利明（山形 1 区） 加藤 鮎子（山形 3 区） 舟山 康江（山形選挙区）	江 部 山形県税政連会長 斎 藤 山形県税政連幹事長 川 合 後 援 会 会 長
金子 恵美（福島 1 区） 根本 匠（福島 2 区） 玄葉光一郎（福島 3 区） 菅家 一郎（福島 4 区） 吉野 正芳（福島 5 区） 亀岡 健民（比 例） 上杉謙太郎（比 例） 森 雅子（福島選挙区） 増子 輝彦（福島選挙区） 若松 謙維（比 例）	大 橋 福島県税政連会長 有 坂 副 幹 事 長 成 瀬 副 幹 事 長 高 澤 副 幹 事 長

- 令元. 11. 5 東京都（議員会館等）
税制改正について陳情（要望書手交）

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加 (出席) 者
津島 淳（青森 1 区） 大島 理森（青森 2 区） 木村 次郎（青森 3 区）	青 木 会 長
階 猛（岩手 1 区） 鈴木 俊一（岩手 2 区） 小沢 一郎（岩手 3 区）	吉 田 幹 事 長
富樫 博之（秋田 1 区） 金田 勝年（秋田 2 区） 根本 匠（福島 2 区）	有 坂 副 幹 事 長
玄葉光一郎（福島 3 区） 菅家 一郎（福島 4 区） 吉野 正芳（福島 5 区）	益 子 副 幹 事 長
土井 亨（宮城 1 区） 秋葉 賢也（宮城 2 区） 西村 明宏（宮城 3 区）	
小野寺五典（宮城 6 区） 遠藤 利明（山形 1 区） 井上 義久（比 例）	
亀岡 健民（比 例） 寺田 学（比 例） 増子 輝彦（福島選挙区）	
櫻井 充（宮城選挙区） 舟山 康江（山形選挙区） 若松 謙維（比 例）	
西田 実仁（比 例） 石井 啓一（比 例） 斎藤 鉄夫（比 例）	
竹内 讓（比 例）	

- 令元. 11. 20 東京都（議員会館）
税制改正について陳情（災害損失控除制度の創設について要望）

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加 (出席) 者
遠山 清彦（比 例）	青 木 会 長 吉 田 幹 事 長

- 令元. 11. 20 仙台市（江陽グランドホテル）
税制改正について陳情（災害損失控除制度の創設について要望）

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加 (出席) 者
小野寺五典（宮城 5 区）	青 木 会 長 福 田 副 会 長

- 令元.11.23 仙台市（自民党宮城県支部連合会）
税制改正について陳情（災害損失控除制度の創設について要望）

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参 加 (出席) 者
西村 明宏（宮城3区）	青木会長 福田副会長 有坂副幹事長

- 令 2. 1. 9 東京都（議員会館）
新年挨拶、税制改正について陳情

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参 加 (出席) 者
津島 淳（青森1区） 大島 理森（青森2区） 木村 次郎（青森3区） 江渡 聰徳（比例）	西村青森県税政連会長 奈良青森県税政連幹事長 今後援会会長 石塚後援会会長
階 猛（岩手1区） 鈴木 俊一（岩手2区） 小沢 一郎（岩手3区）	穀田岩手県税政連会長 佐々木岩手県税政連幹事長 及川後援会会長 樋口後援会会長 工藤後援会会長
富樫 博之（秋田1区） 金田 勝年（秋田2区） 御法川信英（秋田3区） 寺田 学（比例） 石井 浩郎（秋田選挙区）	鈴木秋田県税政連会長 吉川秋田県税政連幹事長 益子副幹事長 日野副幹事長
土井 亨（宮城1区） 秋葉 賢也（宮城2区） 西村 明宏（宮城3区） 小野寺五典（宮城6区） 井上 義久（比例） 櫻井 充（宮城選挙区） 愛知 治郎（宮城選挙区）	福田宮城県税政連会長 有坂宮城県税政連幹事長 石川宮城県税政連副幹事長 笛田副幹事長 小山内副幹事長
遠藤 利明（山形1区） 加藤 鮎子（山形3区） 舟山 康江（山形選挙区）	江部山形県税政連会長 斎藤山形県税政連幹事長 成瀬副幹事長 森副幹事長
金子 恵美（福島1区） 根本 匠（福島2区） 玄葉光一郎（福島3区） 菅家 一郎（福島4区） 吉野 正芳（福島5区） 亀岡 健民（比例） 上杉謙太郎（比例） 森 雅子（福島選挙区） 増子 輝彦（福島選挙区） 若松 謙維（比例）	大橋福島県税政連会長 深澤福島県税政連幹事長 柳内後援会会長

無料税務相談会場の訪問視察

- 令 2. 2. 1 仙台市（東北税理士会館）
宮城県支部連合会主催無料相談会場の訪問視察

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参 加 (出席) 者
土井 亨（宮城1区） 秋葉 賢也（宮城2区） 井上 義久（比例） 櫻井 充（宮城選挙区）	青木会長 福田宮城県税政連会長 上杉後援会会長他

- 令 2. 2. 1 山形市（山形テルサ）
山形支部主催無料相談会場の訪問視察

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参 加 (出席) 者
舟山 康江（山形選挙区）	江部山形県税政連会長 佐藤後援会会長 浦山山形支部長他

- ・令 2. 2. 2 盛岡市(パルクアベニューカワトク)
盛岡支部年金及び給与所得者の還付申告相談会場の訪問視察

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加(出席)者
階 猛(岩手1区) 鈴木 俊一(岩手2区)	穀 田 岩手県税政連会長 工 藤 後 援 会 会 長 樋 口 後 援 会 会 長 他

- ・令 2. 2. 8 秋田市(アルヴェ)
秋田南支部主催無料相談会場の訪問視察

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加(出席)者
富樫 博之(秋田1区) 寺田 学(比例)	鈴 木 秋田県税政連会長 大 友 秋田南支部長 他

- ・令 2. 2. 23 郡山市(ビックパレットふくしま)
郡山支部税理士記念日無料相談会場の訪問視察

国 会 議 員 名 等 (選 挙 区)	陳 情 等 参加(出席)者
根本 匠(福島2区)	宗 像 後 援 会 会 長 堀 江 郡 山 支 部 長 他

令和元年県税理士政治連盟定期大会

団体の名称	月 日	開 催 場 所	本連盟出席者名
宮城県税理士政治連盟	7月23日	仙 台 市 パ レ ス へ い あ ん	青 木 会 長 吉 田 幹 事 長
岩手県税理士政治連盟	8月28日	盛 岡 市 ホ テ ル メ ト ロ ポ リ タ ル 盛 岡 本 館	青 木 会 長
福島県税理士政治連盟	7月17日	福 島 市 ザ ・ セ レ ク ト ン 福 島	池 田 副 会 長
秋田県税理士政治連盟	8月23日	秋 田 市 ホ テ ル メ ト ロ ポ リ タ ル 秋 田	西 村 副 会 長
青森県税理士政治連盟	7月18日	青 森 市 ラ ・ プ ラ ス 青 い 森	福 田 副 会 長
山形県税理士政治連盟	7月19日	鶴 岡 市 あ つ み 温 泉 た ち ば な や	穀 田 副 会 長

東北税理士政治連盟組織一覧

(令和 2 年 6 月 30 日現在)

団体の名称	設立届出年月日	会 長	幹 事 長
東 北 税 理 士 政 治 連 盟	51年 2 月 27 日	青 木 正	吉 田 恵 幸
宮 城 県 税 理 士 政 治 連 盟	51年 10 月 18 日	福 田 治	有 坂 信 彦
岩 手 県 税 理 士 政 治 連 盟	51年 7 月 19 日	穀 田 有 一	佐 々 木 智 也
福 島 県 税 理 士 政 治 連 盟	51年 11 月 6 日	大 橋 健 二	深 澤 広 守
秋 田 県 税 理 士 政 治 連 盟	51年 8 月 4 日	鈴 木 明 夫	宇 佐 見 康 伸
青 森 県 税 理 士 政 治 連 盟	51年 7 月 20 日	西 村 晴 夫	奈 良 勝 行
山 形 県 税 理 士 政 治 連 盟	51年 4 月 19 日	江 部 寛	斎 藤 榮 一

日本税理士政治連盟の会議出席状況

年 月 日	会 議 名 等	出 席 者 名
令和元. 7. 12	第1回財務委員会	羽川副幹事長
令和元. 7. 17	第1回正副幹事長会	吉田幹事長
令和元. 8. 5	第1回幹事会	池田副会長、吉田幹事長
令和元. 8. 19	第1回広報委員会	日野副幹事長
令和元. 8. 23	第1回総務会・正副会長会合同会議	青木会長、吉田幹事長
令和元. 9. 26	第2回正副幹事長会	吉田幹事長
令和元. 9. 26	第2回幹事会	青木会長、池田副会長、吉田幹事長
令和元. 9. 26	第53回定期大会	青木会長他8名・オブザーバー14名
令和元. 10. 7	第1回正副会長会	青木会長
令和元. 10. 21	第2回広報委員会	日野副幹事長
令和元. 10. 28	第3回正副幹事長会	吉田幹事長
令和元. 10. 28	第3回幹事会	福田副会長、吉田幹事長
令和元. 11. 5	第1回政策・国対委員会合同会議	青木会長、吉田幹事長
令和元. 11. 15	第3回広報委員会	森副幹事長
令和元. 11. 25	第2回財務委員会	成瀬副幹事長
令和元. 11. 27	第1回後援会対策委員会	小山内副幹事長
令和元. 11. 27	第3回正副幹事長会	吉田幹事長
令和元. 12. 11	第1回組織委員会	吉田幹事長、日野副幹事長
令和元. 12. 17	第4回広報委員会	森副幹事長
令和2. 1. 9	第4回幹事会	青木会長、福田副会長
令和2. 1. 15	第4回正副幹事長会	吉田副幹事長
令和2. 1. 21	政治資金監査指導者研修	益子副幹事長
令和2. 1. 21	第5回広報委員会	森副幹事長
令和2. 2. 10	第1回組織委員会正副委員長会	吉田幹事長
令和2. 5. 18	第6回広報委員会（書面審議）	森副幹事長
令和2. 5. 19	第5回正副幹事長会（WE B）	吉田幹事長
令和2. 5. 21	第2回組織委員会（WE B）	吉田幹事長
令和2. 5. 28	第1回政策委員会（WE B）	有坂副幹事長
令和2. 6. 29	第1回国対委員会（WE B）	益子副幹事長

あいさつ要旨

「災害損失控除の創設」を最重点事項に

東北税理士政治連盟会長 青木 正



コロナ禍の中、代議員の先生方には東北税政連の定期大会にご参加いただきましてありがとうございます。支部長会から連続しての会議で、何かとお疲れのところと思いますが、最後までよろしくお願ひいたします。

また、日頃から東北税政連の活動に対し、ご理解とご支援をいただいていることに対し、御礼を申し上げます。

本日は、感染予防のため日税政会長や本連盟の顧問・相談役の先生方にはご案内はしておりませんが、木口会長には特段のご配慮をいただきご出席をいただいております。ありがとうございます。

初めに「サポート募金」の御礼でございます。東北税政連として初めての取り組みでありましたが、400名の会員から総額366万円のご支援をいただきました。

50ある全支部の会員から暖かいご芳志をいただきました。ありがとうございます。匿名希望以外の会員名は東北税政連のホームページに掲載してございますので、ご確認いただければ幸いです。

安倍首相の突然の辞任を受け、後継者選びが熱を帯びており、秋田県出身の「令和おじさん」が有力視されております。先日、陳情した自民党の衆議院議員によれば、10月か11月に解散総選挙が行われると話しをしておりましたし、9月1日の日経新聞にもそういう記事が掲載されておりました。

その場合には選挙応援支援金として、「税理士が支援する国会議員等後援会」に対し、いただきましたサポート募金を有効に配分し、我々が要望する税制改正が実現するよう働きかけていきたいと思います。

東北税政連は、税制改正に理解のある国会議員を全面的に支援しております。選挙が近くなる時だけ我々の税制改正要望に耳を傾ける、そう言う国会議員との付き合いではなく、後援会の皆様には普段から支援する国会議員と税制に関する勉強会や国政報告会等を開

催していただき、深い信頼関係を構築していただきたいと思います。

その税制改正ですが、東北税政連は「災害損失控除の創設」を重点事項として、自民党や公明党の国会議員をはじめ、財務省にも出向き陳情を実施しましたが、昨年は与党の税制改正大綱に取り上げられずあと一步のところで実現できませんでした。

令和3年度も東北税理士会調査研究部から、分りやすいパンフレットを作成していただきました。毎年のように各地で発生している災害に対する税制措置として、「災害損失控除の創設」を最重点事項に掲げて取り組んでまいります。

例年、10月に全国一斉に行っている税制改正の一斉陳情のほか、今年は8月から9月にかけて、新型コロナウイルス感染症に対する税制改正要望も実施しております。

内容は、コロナ禍に生じた欠損金は繰越期間の制限を撤廃すること、欠損金の繰り戻し還付期間を3年間とすべき等ですが、もう一つ令和5年10月から導入予定の「インボイス」は、この新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて「延期してほしい」という要望も併せて実施していきます。

既に数名の国会議員に対し陳情致しましたが、前向きに取り組む意思を表明した国会議員には勇気づけられます。

新型コロナウイルス感染症の影響で東北の夏祭りが全て中止となり、墓参りにも出かけられない等さびしい「特別な夏」となってしまいました。こういう状況下ではありますがあらゆる機会を捉え、税制改正実現に向けた活動を展開していきます。

税政連の活動なくして税制改正の実現はできません。今後も、税理士の社会的地位向上のため、東北税理士会や各県税政連、税理士が支援する国会議員等後援会と連携し、我々税理士が要望する税制改正の実現のため陳情して参りますのでご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。

本日は1年間の活動報告と今後の方針を論議する大事な大会です。慣れないウェブ方式でかつ限られた時間ではございますが、慎重審議の程、よろしくお願ひ申し上げます。

あいさつ要旨

税政連活動の成果は すべての税理士会会員が等しく享受

日本税理士政治連盟会長 太田直樹

本日は、東北税理士政治連盟の第47回定期大会が開催されますことを心からお慶び申し上げます。また、日ごろから日本税理士政治連盟の会務運営に対し、格別のご高配を賜り深謝申し上げます。

8月28日、安倍首相が突然、辞意表明をいたしました。今月17日頃には新しい首相が選ばれますが、政局は先の見えない状況となり、税政連にも的確な判断とスピード感のある対応が求められております。

今年度の定期大会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小し、例年とは異なった方法での開催を余儀なくされています。東北税理士政治連盟におかれましても、青木会長はじめ執行部の皆様には、困難な状況の中、会務を執行されておられることに感謝申し上げます。

日税政は、この難局を乗り切るため日税連と連携して積極的に対応しております。日税連は中小企業支援の要望や新型コロナウイルス感染症にかかる税制改正建議を機関決定しており、これらの要望実現のため全国の税政連の皆様の力を結集して国会議員に対する活動を行います。

このほかの日税政の諸課題についても、所信の一端をご報告させていただきます。

まず、税制改正への対応について申し上げます。

日税連は、6月11日の理事会において、「令和3年度・税制改正に関する建議書」及び「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う税制改正に関する建議書」を機関決定しました。日税政は、これまで以上に迅速な対応に努め、税制建議の実現を強く訴え続けてまいります。東北税政連におかれましても、改めてご理解とご協力をお願い申し上げます。

次に、税理士法改正については、日税連が税理士法改正に向けた議論を加速しております。税理士制度が国民にとって必要不可欠な制度であるという基本認識

のもと、ICT社会における税理士事務所のあり方、税理士試験の受験資格の見直しなどを法改正要望項目として検討が進められています。日税政は、日税連と連携して、次世代にとって魅力のある、そして、国民・納税者により一層信頼される税理士制度とするため、税理士法改正に積極的に対応いたします。

次に、国政選挙への対応です。税政連にとって最も重要な活動は国政選挙への対応です。昨年は第25回参議院議員通常選挙が行われましたが、今後の政局については、衆議院議員の任期は、令和3年10月21日までおよそ1年ですが、今月半ばには新しい内閣となり、ますます先の読めない混沌とした状況となっております。

しかし、税政連は国会において、その地域に密着した活動を高く評価しております。次期の国政選挙においても、税政連の推薦議員を一人でも多く国会に送らなくてはなりません。東北税政連におかれましても、より一層のご理解とご協力を改めてお願い申し上げます。

さて、税政連の意義と役割がより重要になる一方、税政連組織の強化や後援会活動の活性化が喫緊の課題となっております。税理士政治連盟の目的は、税理士会の要望実現です。税政連活動の成果はすべての税理士会会員が等しく享受します。すべての税理士が税政連の活動にご理解いただき、誇りと使命感を持って活動に参加していただけるよう、日税政は単位税政連の皆様と英知を結集して取り組んでまいります。

今後も、会員の皆様には、税理士政治連盟の活動に対して、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本日ご参会の皆様のご健勝と貴連盟の益々のご発展を切にお祈りいたしまして、祝辞といたします。

あいさつ要旨

引き続きスピード感をもった 税政連活動に期待

東北税理士会会長 木 口 隆

本日ここに東北税理士政治連盟第47回定期大会が開催され、議案の審議が滞りなく終了されましたことにつきまして、心からお祝いを申し上げます。

さて、貴連盟におかれましては、日本税理士政治連盟を始め、日本税理士会連合会及び東北税理士会の事業計画の基本方針や重点施策事項等の実現に向け、日頃から各種施策の推進並びに強力な運動を開催されておりますことに、この場をお借りして衷心より御礼を申し上げる次第であります。

また、東日本大震災や東京電力福島第一原発事故による被害につきましては、政府の震災特例法案等に対し、継続して提言を行うとともに、地元出身国會議員に対して、機会あるごとに陳情を行うなど、被災地の速やかな復旧・復興支援策を訴え続けられており、誠に心強く感じているところでございます。

例年、税理士会が税理士法に定められているところにより税制改正についての建議書を作成し、権限ある官公署に提出をしておりますことはご高承の通りであります。

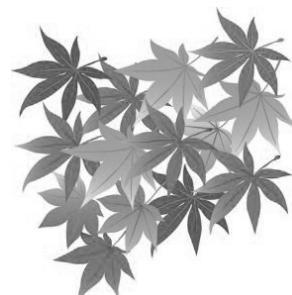
令和 2 年度の税制改正大綱におきまして、申告書等閲覧サービスの利用方法が見直された結果、デジタルカメラ等による写真撮影が可能となり煩雑な事務作業が省略されましたことも、貴連盟はじめ日本税理士政治連盟のご尽力の賜物であることはいまさら申し上げるまでもないことであります。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、納税者を取り巻く社会や経済の状況が一変したことに伴い、一定期間について納税の猶予制度の創設や申告期限延長の特例措置等も設けられておりますが、流動化する社会経済環境にあって、これからも改正要望事項は複雑多岐にわたる状況にあります。そのような状況において、貴連盟におかれましては税理

士会の意を体して、その実現に向け惜しみないご努力をいただいており、近年においては、重要な項目について、着実にその実現を果たされておられますことは、永年にわたる貴連盟の活動の積み重ねによって成し遂げられたものと確信しております。

さらに、社会保障・税番号制度及び消費税の軽減税率制度、今後予定されておりますインボイス制度の導入など、税理士業界を取り巻く環境の変化は著しく、そのなかで税理士に対する社会的な信頼や税理士の職能に対する期待がより一層深まっていることについても、これらよりもなおさず貴連盟のお力添えの賜物と考えておる次第であります。

結びに当たり、これまで当会に賜りましたご支援とご協力に深く感謝を申し上げますと共に、貴連盟の今後益々のご発展を祈念して、お祝いのご挨拶とさせていただきます。



国会議員に税制改正を陳情

東北税政連の役員及び各県税政連の会長・後援会会長等は、令和3年度税制改正に関する要望、特に緊急性・重要性からも新型コロナウイルス感染症の影響に伴う税制改正に関する要望を推薦国会議員に面会をして陳情を行った。

陳情した国会議員は次のとおりである。

(敬称略・順不同)

木村 次郎	(衆・青森3区)
階 猛	(衆・岩手1区)
土井 亨	(衆・宮城1区)
秋葉 賢也	(衆・宮城2区)
井上 義久	(衆・比例東北)
櫻井 充	(参・宮城県)
遠藤 利明	(衆・山形1区)
舟山 康江	(参・山形県)
根本 匠	(衆・福島2区)
亀岡 健民	(衆・比例東北)
若松 謙維	(参・全国比例)



木村次郎衆議院議員（9月6日）



階猛衆議院議員（8月31日）



土井亨衆議院議員（10月20日）



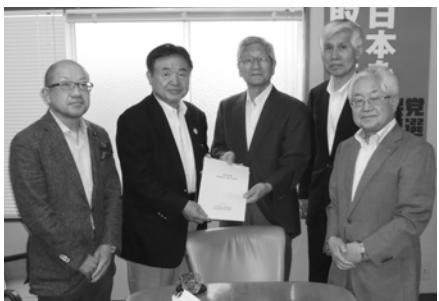
秋葉賢也衆議院議員（8月3日）



井上義久衆議院議員（8月4日）



櫻井充参議院議員（8月3日）



遠藤利明衆議院議員（8月29日）



舟山康江参議院議員（8月29日）



根本匠衆議院議員（8月10日）



亀岡偉民衆議院議員（8月17日）



若松謙維参議院議員（10月20日）



税理士による国會議員等の後援会結成状況

(令和2年11月15日現在)

氏名	所属	選挙区	代表者	結成日
衆議院議員				
津島 淳	自由民主党	青森1区	今 良暢	平24. 4. 24
木村 次郎	自由民主党	青森3区	石塚 徹	平30. 10. 13
階 猛	立憲民主党	岩手1区	工藤 善規	平27. 2. 8
鈴木 俊一	自由民主党	岩手2区	樋口 一男	平12. 6. 8
小沢 一郎	立憲民主党	岩手3区	及川 高志	平3. 3. 20
土井 亨	自由民主党	宮城1区	藤村 元	平27. 6. 26
秋葉 賢也	自由民主党	宮城2区	菊地 弘生	平23. 9. 7
小野寺 五典	自由民主党	宮城6区	菅野 勉	平17. 4. 6
金田 勝年	自由民主党	秋田2区	大山 忠彦	平22. 11. 22
遠藤 利明	自由民主党	山形1区	川合 賢助	平26. 10. 4
根本 匠	自由民主党	福島2区	柳内 一彦	平13. 4. 20
玄葉 光一郎	立憲民主党	福島3区	金澤 博信	平17. 8. 17
菅家 一郎	自由民主党	福島4区	小林 隆晴	平26. 7. 7
吉野 正芳	自由民主党	福島5区	小松 修	平31. 4. 24
亀岡 健民	自由民主党	比例	佐藤 吉弘	平27. 2. 28
寺田 学	立憲民主党	比例	佐々木 茂美	平22. 12. 12
参議院議員				
舟山 康江	国民民主党	山形県	佐藤 登美子	平23. 12. 10
若松 謙維	公明党	比例	宗像 住孝	平29. 7. 3
非現職				
近藤 洋介	無所属		天野 富雄	平26. 11. 15
村岡 敏英	無所属		鈴木 正男	平26. 1. 11
愛知 治郎	自由民主党		浅利 一儀	平16. 4. 24
中泉 松司	自由民主党		和田 英幸	平27. 1. 31

東北税協共済会

報酬口座振替システム

口座振替スタート応援キャンペーン

期間 2020年4月～2021年3月

◆ご紹介元の税理士先生へ◆

ご紹介いただいた税理士事務所(※)が口座振替のお申込手続きをされた場合、
ご紹介元の税理士先生にQUOカード(3,000円)を進呈します。
(ご紹介元の税理士事務所でのご利用の有無は問いません)

◆お申込みの税理士先生へ◆

申込手続きをされた税理士先生全員にQUOカード(1,000円)を進呈します。
(ご紹介の有無は問いません)

※ NSS税理士報酬制度を導入している次の団体に所属する税理士先生の事務所をご紹介いただいた場合も、当キャンペーンの対象となります。

[関東信越税協連共済会、東京地方税理士協同組合共済会（千葉県税理士協同組合）、東海税協広栄会、名税協共済会、北陸税理士広栄会、近畿税理士会、四国税理士共済会、南九州税理士共済会、沖縄税理士協同組合共済会]

関与先さまの ご負担を軽減

関与先さまの現金・小切手の準備、
振込手数料・手間が省けます。

選べる振替日

口座振替日は8日、22日のどちらかをお選びください。

税理士事務所の ご負担を軽減

集金・送金依頼の
手間が省けます。

ご利用料金(消費税別)

**基本料：2,000円
+
請求1件：110円**

請求口座数	料 金
10口座	3,100円
30口座	5,300円
50口座	7,500円

資料請求・お申込み・ご紹介の際は下記フリーダイヤルまでお問合せください。

〔制度運営者〕 東北税協共済会

〔お問合せ先
委託先会社〕 NSS 大同生命グループ
日本システム収納株式会社

《フリーダイヤル》(平日 9:00～17:00)



0120-700-676

管 1954 2020/10

税理士業界一筋45年余の信頼と実績

税理士顧問料の集金は**報酬自動支払制度**にお任せください。

選ばれる理由
報酬自動支払制度が

- 理由1** 未収金を防ぎ業務負担を大幅に軽減!
- 理由2** 基本料金0円!
関与先1件335円で利用可能!
*郵送型「POST」の場合
- 理由3** 総合的な売上管理が可能!
*ネット型「e-NET」(売上管理型)の場合
- 理由4** 確定申告や相続税の申告など不定期の報酬にも対応!

ネット型「e-NET」
新機能リリース

振替前に関与先様へ
「請求書」をスピーディーに
メールでお送りするサービスを
開始します。
(2020年11月28日振替分より:無料)

用途に応じて選べる
2つの方
式



POST 郵送型
帳票を毎月郵送

まずは1件から始めたい先生に
おすすめです。

■ 利用料金

基本料 無料

口座振替請求手数料 335円/件



e-NET ネット型
ネットで管理も楽々

集金管理の効率化を図りたい先生に
おすすめです。

e-NET の集金支援システム特許取得 (特許第5117097号)

■ 利用料金 1,800円/月

(5日と28日両方の振替日をご利用の場合は、2,100円/月となります。)

口座振替請求手数料 240円/件

*表示金額に消費税は含まれません。



〈報酬自動支払制度〉オンライン説明始めました。



オンライン説明をご希望の方は、お電話または、メールでお申し込みください。

電話番号 03-3345-8888 アドレス h-shiryou@nichizei.com

報酬自動支払制度のお問い合わせは ホームページから資料請求・申込が可能です。QRコード

0120-155-551

報酬自動支払制度 検索



各種事業も好評をいただいているます。

関与先様の集金は My 集金 NET

集金業務でお悩みの
関与先様をご紹介ください。
賃料・各種会費・購読料など定期・
不定期を問わず1件からサポートいたしました。

My 集金 NETのお問い合わせは
0120-155-551

研修事業のご案内

幅広いテーマと著名講師による実務上のポイント解説を中心とした研修を多数ご用意しております。マルチメディア研修も豊富です。



研修事業・日税ジャーナルオンラインについてのお問い合わせは

TEL 03-3340-4488

日税ジャーナルオンライン

知りたい情報はココにあります!
最新の税務ニュースやお役立ち
ワンポイント講座など、税理士
事務所のための情報
ポータルサイトです。





日本税理士協同組合連合会 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-8 日本税理士会館4階
税理士のための相互扶助組織「税理士協同組合」は、税理士と業界の発展を支える事業活動団体です

「税理士事務所の福利厚生」生命共済制度

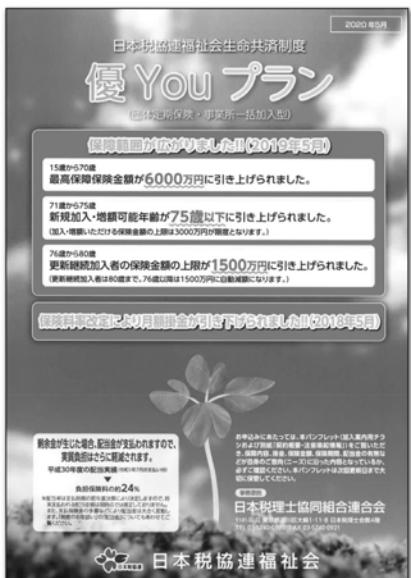
「優Youプラン」のご案内

事業所一括加入型・団体定期保険

「優Youプラン」は、日本税理士協同組合連合会が全国規模のスケールメリットを活かし安定した運営を行う税理士業界最大の「税理士事務所の福利厚生(生命保険)」です。

令和2年9月末の加入状況

7,044事務所、被保険者21,310人、保有保険金額1,517億7,400万円



優Youプランの特徴

死亡保険金・高度障害保険金

75歳まで加入が可能(継続は80歳まで)

保障額は200万円から最高6000万円

加入は医師の審査不要

(申込書において告知事項を確認)

余剰金が生じた場合、
配当金が支払われます



※詳しくはパンフレットをご覧ください→

《契約団体》 日本税協連福祉会

《事務委託》 日本税理士協同組合連合会

《引受保険会社》 住友生命、日本生命、ジブラルタ生命、第一生命、富国生命、明治安田生命、大同生命
(7社)

* お申込みにあたっては、必ず、パンフレット(加入案内用チラシ)、「契約概要・注意喚起情報」をご覧いただき、保障内容、掛金、保険金額、保障期間、配当金の有無などが自身の意向に沿った内容となっているかをご確認ください。

東北税理士協同組合では、本年度『優Youプラン』の重点取組地区として、制度の周知と加入推進を行っております。詳しくはお問い合わせください。

東北税理士協同組合からのお知らせ

全税共関与先紹介カードについて

協同組合では、本年度も東北税理士会会員による「1人1件紹介運動」を展開することにしております。

関与先に保険の案件があった場合には、「全税共関与先紹介カード」に必要事項をご記入の上、事務局あてに FAX いただきますようお願い申し上げます。

令和 2 年全税共関与先紹介カードのご案内

本組合では、保険事業の収益の増加を図るため、東北税理士会の会員の皆様の関与先を、保険会社に紹介する「1人1件紹介運動」を展開しております。
関与先に2件以上、保険請用の案件がある場合は、この「全税共関与先紹介カード」をご利用ください。このカードを利用し、関与先を今般共関與保険会社にご紹介いただくと、謝礼として1件につき3,000円（その保険案件が、契約成立まで至った場合には10,000円）の商品券を贈呈いたします。
なお、本組合で例えた場合は、研修会の開催や団体の奉仕等を通じ、組合員の皆様に還元しております。
皆様のご協力をお願い申し上げます。

全税共関与先紹介カード	
（実施期間：令和 2 年 1 月 1 日～2 月 28 日）	
東北税理士協同組合 FAX (022-293-6731)	
出張先	
税理士名	
紹介先名 (関与先・個人名)	
住所	〒 _____
希望する保険会社 (□で囲んでください)	・朝日生命・第一生命・日本生命・ジャパン生命 ・メットライフ生命・明治安田生命・住友生命 ・SOMPOひまわり生命・アサヒ生保・富国生命 (申し訳ございませんが、組合役員が選定いたします。)
申込済み社員登録欄	
東北税理士協同組合 理事長 湯村三夫 様	
本紹介カードの結果について、以下のとおり報告いたします。 □承認立 (月額保険料 円) 年払い立 (月払立) 年払い立 □承認立 (年払い立) 年払い立 ※受取金額に記入しない場合は、該欄に「記入なし」と記入して下さい。	
謝礼について 合計紹介いただいた契約が成立した場合：1 関与先につき商品券 10,000 円贈呈 合計紹介いただいた契約が不成立の場合：1 関与先につき商品券 3,000 円贈呈	

※様式は組合ホームページからダウンロードできます。

手順

- 1** 会員は「全税共関与先紹介カード」に関与先名称等の必要事項を記入の上、懇意の保険会社営業職員に手交または、組合事務局にFAX (022-293-6731) にて提出
- 2** 組合事務局は「全税共関与先紹介カード」を「希望する保険会社」に連絡（希望する保険会社欄が空欄の場合は、組合役員に選定をお願いする）
- 3** 受け取った保険会社担当者は、募集活動終了後、紹介カードに成立・不成立を記入の上、組合事務局宛に報告
- 4** 組合はキャンペーン終了後、紹介カードを集計し、全税共に結果を報告
- 5** 組合より「全税共関与先紹介カード」を提出した組合員に謝礼を贈呈

紹介契約成立の場合

1 件につき商品券

10,000 円

紹介契約不成立の場合

1 件につき商品券

3,000 円

※注意事項

- 関与先以外（税理士本人及び事務所従業員等）の紹介は、保険契約が成立した場合のみ対象とします。
- 同一関与先内で複数の契約が成立した場合や同一関与先を2回以上紹介した場合でも1カウントとします。
- 保険会社営業職員への紹介のみ対象とします。税理士VIP代理店と営業職員の共同募集における紹介は対象としません。
- 契約が成立した場合でも、全税共扱いにならなかった場合（年払い・一括払い）は、不成立扱いになります。